



一般質問

上戸田福祉センター

跡地を屋根付き広場に

「市民の意見聞きながら検討」

山崎雅俊議員



田保育園の跡地を屋根付き広場にしたいか

議員 移転予定の上戸田福祉センターと上戸

がか。

福祉部長 上戸田福祉センター及び上戸田保育園の跡地については、上戸田福祉センター再整備基本計画の建設地となる上戸田ふれあい広場の代替地として整備することを考えている。

現在、上戸田ふれあい広場は市民の憩いの場となっており、ゲートボールや運動会、お祭りなど、各種イベントや市民活動等に利用

ただきたい。耐震点検と対策はどのように取り組んでいるのか。

教育部長 学校施設の非構造部材の点検及び地震対策について

「画」に沿って、順次耐震化を進めていく。

議員 火災や地震などの初



▲天瀬屋根付き運動広場（大分県日田市）

されている。地元町会を初め各種活動団体からは、現在の活動ができるようにしてほしいという声が多く寄せられている。

今後、市民の意見を聞きながら、総合的に検討していきたい。

期活動に機動力を発揮する「消防バイク」を導入してはどうか。

消防長 震災発生時に情報収集する車両として消防バイクを活用することは有効と考える。調査研究していく。

議員 登録型一斉避難訓練「シエイクアウト」を取り入れ、効果的な防災訓練と啓発を行うてはどうか。

総務部長 多くの人が一斉に参加ができる訓練は、非常に有効であると考える。埼玉県とも協議し検討していく。

議員 子どもを危険から守るために、いま一度、通学路に危険や盲点はないか点検し、より一層の安全対策を強

教育部長 教員や保護者、地域からの報告や情報をもとに危険個所の緊急対応、改善計画、通学路の変更などをし、安全確保に努めている。

児童生徒の発達段階に応じ、安全教育を実施している。

間の使用も可能になり、今までの多様な利用が可能となる。災害時の一時避難場所としても利用可能なことなどから、ぜひ、今後の検討の中に入れてほしい。

福祉部長 議員御指摘の屋根付き広場という提案も、貴重な意見の一つとして、今後の研究課題とさせていただきます。

通学路の安全確保と対策を万全に

議員 子どもを危険から守るために、いま一度、通学路に危険や盲点はないか点検し、より一層の安全対策を強

議員 子どもを危険から守るために、いま一度、通学路に危険や盲点はないか点検し、より一層の安全対策を強

議員 子どもを危険から守るために、いま一度、通学路に危険や盲点はないか点検し、より一層の安全対策を強

学校や体育館の天井や壁などの耐震化急げ

「計画に沿って進める」

防災対策



▲天井の部材が大量に落下した学校体育館 ※東日本大震災・長野県栄村（提供：財団法人消防科学総合センター）



議員 学校や体育館の天井や照明器具・壁な

どの非構造部材の耐震化を早急に実施してい

たはこれに準ずると認められる者は税を減免することができること

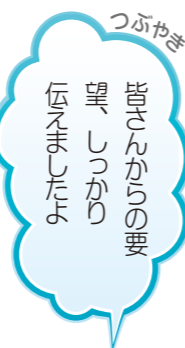
となつては、減免の実施を②国民健康保険法第44条には、医療費の一部負担の減免が規定されている。困窮する市民への実質的運用がされていない。対象者へ運用するべき。

花井伸子議員

税・医療費自己負担の軽減を

「実情を十分に聞き適正に対応」

国民健康保険



災害等により当該年度において所得が皆無となつたため生活が著しく困難となつた者、ま

議員 ①戸田市国民健康保険条例第20条には、

たはこれに準ずると認められる者は税を減免することができること

で総合的に検討する。

福祉部長 ①②納税者の負担能力を個々に判断し、ケースごとに実

たはこれに準ずると認められる者は税を減免することができること

で総合的に検討する。

議員 橋の寿命を延ばすことと通行者の安全を確保することは別問題。「橋梁長寿命化修繕計画」とは別に、通行者の安全確保の観点から、一日も早く、歩道橋設置や架け替えの検討を行うよう要望する。



▲北戸田駅の待合室

情を十分に聞き、慎重かつ適正に対応する。

高齢者福祉の充実を

議員 高齢者は、年金が減り続ける中で、負担は増え続けている。①入院中の高齢者へ、紙おむつ代の助成を②通院タクシー券の交付を。

える。今後、事業全体を見直す中での研究課題としたい。

その他の質問

Q 駅環境の整備促進として、駐輪場ラックの改善、通路の滑り止め、ホーム待合室の設置を。 A ラックは研究する。滑り止め対策、待合室整備も検討に入っている。工事時期は未定だが、順次整備を行うとJRから回答があった。

本田 哲議員

本村橋南側に歩道橋設置を

「橋梁長寿命化計画の中で検討」



議員 日も早く本村橋南側に歩道橋設置を

行って、通行者の安全確保を図るべきである。

都市整備部長 歩行者の安全対策として、本村橋下流側への歩道橋設置は有効な手段であると認識している。今後、策定する「橋梁長

交通安全対策



▲歩道橋がなく車道を通るしかない市民

差し押さえのみを強調する掲示物の撤去を

議員 収税推進室の相談窓口には「給与差し

議員 橋の寿命を延ばすことと通行者の安全を確保することは別問題。「橋梁長寿命化修繕計画」とは別に、通行者の安全確保の観点から、一日も早く、歩道橋設置や架け替えの検討を行うよう要望する。

押しさえ強化中」といった差し押さえのみを強調する様々な用紙が張られている。しかし、国税徴収法には、「徴収の猶予」、「換価の猶予」、「滞納処分停止」といった制度もあるが

えのみを強調し、納税者に偏った情報しか与えない掲示物は、すぐ

財務部長 掲示物の撤去はできないが、その内容を含め検討をする。

議員 掲示物の内容の検討ではなく撤去すべきである。また、掲示物の有無に関わらず、納税相談者にとって必要な制度は、しっかりと説明を行うことを要望する。